

総合工学委員会 科学的知見の創出に資する可視化分科会小委員会の設置について

分科会等名：ICT時代の文理融合研究を創出する可視化小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	文理融合研究の重要性が謳われているが、現状では、理系と文系の研究者が単に共通の研究対象を扱うなどの文理「連携」レベルの研究プロジェクトが多い。一方、近年、理系文系を問わず研究対象データが複雑化・ビッグデータ化しつつあり、理系と文系の両方の強みを活かした本来の意味での文理融合研究が必須となっている。本小委員会では、可視化を共通言語とした真の意味での文理融合研究のモデルに関して、提言をまとめる。とくに、(1)デジタルヒューマニティーズ分野における可視化、(2)こころの発達と健康の分野のための可視化、を中心に議論を行う。なお、本小委員会は、総合工学委員会(第23期)が2017年8月8日に出版した提言「科学的知見の創出に資する可視化に向けて」の具体的実践に焦点をあてた活動を行うためのものである。
4	審議事項	1. デジタルヒューマニティーズ分野における新しい可視化研究 2. こころの発達と健康の分野における新しい可視化研究 3. その他の文理融合研究を推進するための可視化に係る審議に関すること
5	設置期間	平成30年6月28日 ～ 平成32年9月30日
6	備考	※24期初設置